

한통련 뉴스레터

제16호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●朝鮮半島の緊張を煽るばかりの「国連軍司令部」の解体を求める！



国連司令部解体を主張するキム1等書記官

朝鮮は11月4日に行われた国連総会第6委員会で、韓国にある「国連軍司令部」を解体するよう改めて求めた。国連のホームページによると、朝鮮の国連代表部のキム・インチョル1等書記官は「個別国家が政治・軍事目的で国連の名前を乱用する正常ではない状況は、たださなければならぬ」として、「国連軍司令部は国連と関係のない米軍司令部にすぎない」と主張。「南（韓国）に駐屯する米軍が定例訓練で朝鮮半島の緊張を高め、北南の和解と協力を妨害する主な原因という事実は広く知られている」と批判した。また、「最近、南北で同時多発的なミサイル発射があり、朝鮮と米国を含む複数の国の極超音速発射体の発射実験があったが、国連安全保障理事会では、朝鮮の発射だけを国際平和への脅威とし糾弾した」と反発した。キム氏の後に発言した韓国代表部のト・グァンホン参事官は朝鮮側の主張について、「委員会を政治宣伝のための場として利用しないことを、すべての加盟国に促したい」と述べた。朝鮮の金星国連大使は10月27日に開かれた第4委員会でも国連軍司令部の解体を求めた。

月7日、緊急招集された国連安全保障理事会（安保理）の決議により創設された国連軍司令部は、その誕生時から違法性がつきまとった。国連憲章によれば国連軍の創設は国連総会の決議が必要。しかし当時の安保理は国連旗の使用を承認しただけだったのに、米国が国連軍を僭称し無断で創設したものだ。その後、米国が停戦体制下でも国連軍司令部を維持しようとする、1975年の第30次国連総会は国連軍司令部の解体を決議した。当時のキッシンジャー米国务長官も国連総会の基調演説を通じて、1976年1月1日付けで国連軍司令部を解体すると公言した。しかし46年が過ぎた現在まで、米国は国連と交わした約束を守っていない。米国は国連軍司令部を解体する代わりに、1978年に韓米連合司令部を創設、国連軍司令部が所持していた韓国軍作戦統制権を駐韓米軍司令官に移譲する一方、韓米合同軍事演習を実施し対朝鮮圧迫策として利用し始めた。米国は朝鮮半島の周辺情勢がどのように変化しようとも、国連軍司令部を維持し、自らのインド太平洋戦略を貫徹する前哨基地として利用するつもりだ。それゆえに米国は国連軍司令部の問題が浮上することを警戒している。たとえば終戦宣言が実効性を備えて停戦協定体制から平和協定体制へと進展することになれば、当然、国連軍司令部解体の主張が妥当性をもって台頭するだろう。米国が終戦宣言に積極的な姿勢を示さない理由がここにもある。韓国内でも市民社会団体が構成する「偽物（にせもの）国連軍司令部を解体するための国際キャンペーン」が国連軍司令部の解体を求めて活発な運動を展開している。なんの根拠もないまま居座り続け、朝鮮半島の軍事緊張を煽るばかりの国連軍司令部は即刻解体されなければならない。

朝鮮戦争勃発直後の1950年6月27日と7

●反米自主の声が米軍基地前でとどろく！



1月27日、ソウル龍山の戦争記念館と米軍基地一帯で「2021反米自主大会」が開かれ、全国民衆行動（準）と祖国統一促進大会準備委員会をはじめとする各団体から参加者が結集した（写真）。全国民衆行動（準）常任共同代表のパク・フンシク全農議長は大会辞を通じて「100年近い米国中心の国際秩序が崩れる大転換の時代を迎える中、韓国はそうした流れとまったく違う道を進んでいる」とし、「文在寅政権を最後に、不平等な韓米同盟の関係を決定的に断ち切らなければならない」と強調した。参加者らは闘争決議文を通じて「反米自主闘争だけが朝鮮半島の平和

と繁栄、自主統一を促進し、事大と隷属から抜け出て民族自主を実現できる最も力のある方法であり近道」だと宣言。△平和・統一を妨害する対朝鮮敵視政策の撤回△分断固定化・東北アジア覇権を維持するための韓米同盟の破棄△在韓米軍の撤収△国家保安法の廃止を決議した。

労働者民衆は「不平等の打破と韓国社会の大転換」を中心スローガンとして掲げて全国労働者大会（1月13日）を皮切りに、全国農民大会（17日）、全国同時多発民衆大会（12月11日）、全国貧民大会（12日）の開催を経て、来年1月15日にはそれまでの大会の成果を集大成して「民衆総決起」を執行し成功させる計画だ。反米自主大会は当然、反米自主が基調だが連帯して開かれた。これらを通じて、大統領選挙と次期政権をにらみながら、運動的には進歩民衆陣営の立場を明確にし要求を突きつけるとともに、組織的には常設的で全国的な共同闘争戦線を構築することを目標としている。全国労働者大会では、民主労総と進歩5政党が大統領選挙共同宣言を発表し、共同闘争を展開することをすでに明らかにした。

●国家保安法を即刻廃止し良心囚を即時釈放せよ！



「国家保安法」制定（1948年12月1日）から73年を迎えた12月1日、「国家保安法廃止国民行動（国民行動）」は国会前で記者会見を開き、国家保安法を即刻廃止し良心囚を即時釈放することを要求するとともに、ソウル、釜山、全南、光州、京畿、大田、大邱・慶北、慶南で国家保安法廃止全国行動を一斉に展開した（写真）。一方、国民行動は前日30日、国会で「国家保安法被害事例聴取会」を開催、国家保安法による被害者が自らの事例を報告することで、国会（議員）に同法の問題点と乱用実態を知らしめ、同法廃止法案の制定を促進する機会とした。同会には与党「共に民主党」、正義党、「開かれた民主党」の院内代表がメッセージを寄せた。正義党と開かれた民主党が「第21代国会で国家保安法を必ず廃止しなければならない」との立場を明らか

にする一方、与党「共に民主党」のユン・ホジュン院内代表は「廃止については賛反世論があり十分な論議が必要」だとして、「国家保安法廃止」を明言しなかった。共に民主党と第一野党「国民の力」は11月9日に国会法制司法委員会で、国家保安法廃止法案を求める国会同意請願の審議を第21代国会会期末（2024年5月29日）まで延期することを決議している。（ニュースレター第15号参照）

国民行動は国家保安法制定73年を迎えた12月1日に、国会前およびソウルや釜山をはじめとする全国各地で同法廃止を訴えた。しかし、国家保安法の廃止を肝心の国会が妨害している。共に民主党と国民の力は、同法の審議を延期して大統領選挙で争点になることを避けた。共に民主党と文在寅大統領は「朝鮮半島平和プロセス」を提唱し南北和解と平和繁栄を主張するが、国家保安法が存在する限り、実現には困難を伴うといわざるを得ない。「国家保安法を博物館に送ろう」と訴えた盧武鉉大統領の意志を盟友の文在寅大統領は継承し実現しなければならない。また、国家保安法による弾圧を受けた議員が多く所属する共に民主党は、有権者から与えられた169議席を活用し、同法の廃止を求める国民世論に応えなければならない。

활동보고 活動報告

●三重で「私はチョソンサラムです」上映会を開催



パネルディスカッションで発言する金昌五副代表委員

1月28日、四日市市総合会館で「私はチョソンサラムです」三重上映会が開催された。主催は韓統連三重本部を中心とした実行委員会。会場には140名の参加者が詰めかけ、大盛況となった。上映前に韓統連三重本部の金相祚代表委員が主催者挨拶。「この映画は様々な立場のチョソンサラム（朝鮮人）の姿が描かれている、素晴らしい作品。みなさんと一緒に同胞の未来を考えていきたい」と語った。

映画上映後は、映画関係者によるパネルディスカッションを開催。映画監督の朴英二氏、四日市朝鮮初中級学校の鄭俊宣校長、在日韓国良心囚同

友会の李哲代表、韓統連大阪本部の金昌五副代表委員が参加し、それぞれの立場から映画の感想や在日同胞の未来について発言した。

朴監督は、日本で映画の普及活動に取り組んだ背景として「この映画は様々な立場の在日同胞を扱っており、ぜひ多くの日本人と在日同胞に見てほしいと思った」と述べ、鄭校長は朝鮮学校の現状を説明しながら「露骨化される差別の中でも、子どもたちがチョソンサラムとして堂々と生きていっていいんだ、ということはこの映画をみて知ってほしい」と語った。

また、どうすれば差別を克服できるのか、というテーマに関して李代表は、自らの人生と照らし合わせながら「差別や弾圧はなかなか無くないが、それに負けない強い気持ちを持つこと。韓国の民主化、祖国統一への気持ちを国内の同胞とともにすることが大切ではないか」と強調。金副代表委員は「運動の力によって、社会状況も少しずつ変わってきた。朝鮮が統一して、日本と平等な社会をつくるときが必ず来る。若い人たちは自分たちが祖国の運命を左右するんだという気概を持って生きてほしい」と語った。

参加者からは「在日同胞のことをとてもよく学ぶことができた」「差別をなくすためにがんばっていきたい」など多くの感想が寄せられた。

・韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、公演や集会の動画などは韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ>

韓統連



・第20代韓国大統領選挙案内を配布しています

韓統連では、来年3月に実施される韓国大統領選挙の案内を配布しています。現在の主要な大統領候補の紹介や、在外同胞の選挙登録、投票方法を解説しています。ご希望の方は、韓統連ホームページをご覧ください。下記までご連絡ください。

電話/FAX 03-4362-5284 メール chuo@korea-htr.org



행사예정 行事予定

12月

第25回伊丹マダン(兵庫)

日時: 12月5日(日)午前10時~午後5時 場所:伊丹スワンホール
内容:映画「アイたちの学校」上映、ちゃんへんさん公演、子どもコーナーなど
主催:同実行委員会 連絡先:090-6065-4857

第16回韓統連愛知セミナー(愛知)

日時:12月12日(日)午後1時半開場、午後2時開始 場所:日本特殊陶業市民会館
内容:「韓国大統領選挙と南北・朝米関係の変化」講師:康宗憲韓国問題研究所代表
主催:韓統連愛知本部 連絡先:080-3281-5413

2022年韓国大統領選挙を考える兵庫の集い(兵庫)

日時:12月12日(日)午後1時30分開場、午後2時開会 場所:尼崎市中小企業センター
内容:講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師:宋世一委員長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内
主催:韓統連兵庫本部 連絡先:090-5016-6352

韓国大統領選挙を考える集い(広島)

日時:12月17日(金)午後5時30分開場、午後6時開始 場所:広島市まちづくり市民交流プラザ
内容:講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師:宋世一委員長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内
主催:韓統連広島本部 連絡先:090-7779-1826

韓国大統領選挙を考える集い(神奈川)

日時:12月18日(土)午後2時開始 場所:サンピアンかわさき
内容:講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師:李俊一総務部長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内
主催:韓統連神奈川本部 連絡先:090-1049-4261

韓国大統領選挙を考える京都の集い(京都)

日時:12月19日(日)午後3時開会 場所:下京青少年活動センター
内容:講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師:李俊一総務部長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内
主催:韓青京都府本部 連絡先:03-4400-5331

1月

映画「私はチョソンサラムです」上映会(広島)

日時:1月16日(日)午後1時30分開場 場所:広島市西区民文化センターホール
内容:映画上映、出演者をまじえてのトークイベント
主催:同実行委員会 連絡先:090-7540-0332

編集後記

先日は三重の「私はチョソンサラムです」上映会に参加しました。本当にたくさんの方が見に来られ、改めてこの映画の注目度の高さを実感しました。準備された実行委員会の皆様、チョンマルスゴハショッスムニダ!

いよいよ2021年も最後の月に入りました。年末は各地で「大統領選挙を考える集い」を開催します。お近くの方はぜひご参加ください。送年会も楽しみです。(李)